平成３０年度　川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業報告会

認知症になっても安心して暮らせる街にするために

～支える側が支えられるとき～

日　時：平成３１年３月１５日（金）

午後１時３０分～午後４時００分

※　開場は午後１時００分から

場　所：みつなかホール（川西市小花２丁目７番２号）

入場無料

※　申し込みは不要です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。
なお、駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

～プログラム～

１．事業報告：地域包括型認知症ケアネットを中心に

活動報告者：トナリエ清和台運営管理室　室長

本田　勝美　さん

２．講演：「支える側が支えられるとき」

～認知症の母が教えてくれたこと～

講師：詩人・児童文学作家・日本児童文学者協会会員

藤川幸之助　さん

＜ベンチでおしゃべり＞

〈主催・問い合わせ先〉
川西市中央地域包括支援センター
TEL 072－755－7581

講師紹介
藤川　幸之助　さん

■詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員。
■1962 年生。長崎大学教育学部大学院修士課程修了。

■小学校の教師を経て、現在は認知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続けている。また、認知症への理解を深めるため全国各地で講演活動を行っている（講演回数 442 回＜2018 年 3 月現在＞）。
■著作に、『徘徊と笑うなかれ』（中央法規）、ポストカード詩集『命が命を生かす瞬間』（東本願寺出版）、詩文集『まなざしかいご　認知症の母と言葉をこえて向かいあうとき』（中央法規）、写真詩集『この手の空っぽは きみのために　空けてある』PHP 出版、『手をつないで見上げた空は』（ポプラ社）、『満月の夜、母を施設に置いて』対談・谷川俊太郎　絵・松尾たいこ（中央法規）、『やわらかな まっすぐ』（PHP 出版）、『君を失って、言葉が生まれた』（ポプラ社）、絵本『大好きだよ キヨちゃん。』（クリエイツかもがわ）、『ライスカレーと母と海』（ポプラ社）『マザー』（ポプラ社）、CD 版『マザー』（ポプラ社）、『こころインデックス』（教育出版センター）等。共著に『人間といういのちの相(すがた)〈4〉』（東本願寺出版）天童 荒太他、『私、バリバリの認知症です』（クリエイツかもがわ）、『長崎の童話』『熊本の童話』（共にリブリオ出版）等多数。
■「認知症をどのように子どもに伝えるか」をテーマに研究を深め、2013 年より認知症ケア学会「未来を作る子どもたちの作文コンクール」の審査委員長を務める。
■長崎市立晴海台小学校校歌作詞作曲。
■著書をもとに NBC 長崎放送が制作したラジオ番組「マザー・詩人藤川幸之助が綴った母との瞬間」が平成１６年度民間放送連盟賞最優秀賞受賞，文化庁芸術祭参加作品となる。

扉（とびら）

藤川幸之助

認知症の母を
老人ホームに入れた。
認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何もわかるはずもない母が
私の手をぎゅっとつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

＊

私がホームから帰ってしまうと
私が出ていった重い扉の前に
母はぴったりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも
母を老人ホームに入れたまま
私は帰る。
母にとっては重い重い扉を
私はひょいと開けて
また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設において』（中央法規）